

決算報告書

令和2年度 決算報告書

国立大学法人広島大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	25,295	25,578	283	(注1)
施設整備費補助金	3,570	3,521	△ 49	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,897	4,131	2,234	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	72	72	-	
自己収入	41,318	40,773	△ 545	
授業料, 入学料及び検定料収入	9,014	8,407	△ 607	(注4)
附属病院収入	31,661	31,816	155	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	643	550	△ 93	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	6,833	8,593	1,760	(注7)
引当金取崩	442	433	△ 9	(注8)
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	1,456	1,638	182	(注9)
計	80,883	84,739	3,856	
支出				
業務費	66,875	63,330	△ 3,545	(注10)
教育研究経費	36,321	34,256	△ 2,065	
診療経費	30,554	29,074	△ 1,480	
施設整備費	3,642	3,593	△ 49	(注11)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,897	3,747	1,850	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	6,833	7,035	202	(注13)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,636	1,634	△ 2	(注14)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	80,883	79,339	△ 1,544	
収入 - 支出	-	5,400	5,400	

○ 予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金については、退職手当及び授業料等免除などが追加交付されたことにより、予算額に比して決算額が283百万円多額となっています。
- (注 2) 施設整備費補助金については、予算段階で予定していた計画の変更及び一部事業の翌事業年度繰越により、予算額に比して決算額が49百万円少額となっています。
- (注 3) 補助金等収入については、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金の交付などにより新規採択等が予算段階の見込額を上回ったこと及び授業料等減免費交付金の計上により、予算額に比して決算額が2,234百万円多額となっています。
- (注 4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料等減免費交付金により383百万円少額となったこと、学士、修士課程に係る入学料収入及び修士課程に係る授業料収入などが予算段階の見込額を下回ったことにより、予算額に比して決算額が607百万円少額となっています。
- (注 5) 附属病院収入については、診療報酬改定に伴う影響及び新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取り扱いに伴う診療単価増加の影響などにより、予算額に比して決算額が155百万円多額となっています。
- (注 6) 雑収入については、主として、新型コロナウイルス感染拡大に伴い利用者制限を行ったため、財産貸付料収入が予算段階の見込額を下回ったことなどにより、予算額に比して決算額が93百万円少額となっています。
- (注 7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、積極的な獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が1,760百万円多額となっています。
- (注 8) 引当金取崩については、予算段階の見込額より取り崩しが少なかったため、予算額に比して決算額が9百万円少額となっています。
- (注 9) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた計画の変更により、予算額に比して決算額が182百万円多額となっています。
- (注10) 業務費については、計画的な執行に伴う教育研究経費の減少、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金(空床補償)による診療経費の補填に伴う減少などにより、予算額に比して決算額が3,545百万円少額となっています。
- (注11) 施設整備費については、(注 2)に示した理由により、予算額に比して決算額が49百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、(注 3)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,850百万円多額となっており、補助金等収入に授業料等減免費交付金等が含まれているため、384百万円の収支差が生じています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注 7)に示した理由により、予算額に比して決算額が202百万円多額となっています。
- (注14) 長期借入金償還金については、借入利率の確定により、予算額に比して決算額が2百万円少額となっています。